

平成28年度

事業計画書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

社会福祉法人 津野町社会福祉協議会

平成 28 年度 津野町社会福祉協議会 事業計画

基本理念 「住民主体の福祉のまちづくり」

基本方針

- 一、お互いが支え合う社会的排除のない地域づくりを目指します。
- 一、地域特性を活かした個性ある小地域福祉活動を推進します。
- 一、利用者の生活の質の向上と自立支援に努めます。
- 一、個別支援と地域福祉活動の連携の取れた地域生活支援を推進します。

平成 28 年度 重点的な取り組み

1. 地域の福祉力を活用した地域福祉活動計画の策定
2. 新しい介護予防・地域支援事業への対応
3. 生活困窮者自立相談支援、福祉サービス利用援助等の個別相談支援機能の充実
4. 社会福祉法改正による法人組織体制の強化

【実施計画】

1. 法人基盤整備・強化

社会福祉法人制度の改革が進められ、本会においても社会的使命を自覚し、経営組織の強化に向けて対応する。

(1) 理事会、評議員会、監事

➤ 理事会：評議員の選出

社会福祉法人制度見直しにかかわる体制整備

開催時期	議題（予定）
28年 5月	事業実績及び決算承認
12月	事業運営に関する協議 (定款変更・・・社会福祉法改正関連)
29年 2月	評議員選出、会長副会長選任
3月	事業計画及び当初予算について
臨時	必要に応じて

➤ 評議員会：役員の選出

社会福祉法人制度見直しにかかわる体制整備

開催時期	議題（予定）
28年 5月	事業実績及び決算承認
12月	事業運営に関する協議 (定款変更・・・社会福祉法改正関連)
29年 2月	役員選出
3月	事業計画及び当初予算について
臨時	必要に応じて

➤ 監事：事業運営の透明性の向上に向けた財務諸表等の監査

開催時期	監査等
28年 5月	事業及び決算監査
10月	中間監査
その他	理事会への出席

(2) 住民会員制度

身近な地域福祉活動を推進していくため、社協活動への関心を深めていただくよう会員加入を推進する。会費は住民主体の福祉活動の推進のため直接活用する。

➤ 行動計画

- ・ 個人会員：各地区長に依頼文書を配布
町内成人全員の加入を目指す。
- ・ 特別会員：企業、団体等に加入を依頼。

(3) 財源確保と適正管理運用・事業運営の透明性の確保

社会福祉法人会計基準、及び本会の経理規程に基づく適正な資金管理、運用及び財務諸表等の公表を行う。

➤ 行動計画

- ・ 内部牽制のルールと体制づくり
- ・ ホームページの作成に向けて検討
- ・ 公表対象：定款、貸借対照表、収支計算書、役員報酬基準

(4) 職員体制

事務所は、東地区に「本所」を、西地区に「支所」を置く。

効果的な事業運営と職員間の連携を重視し、事業にあたる。

事業の有効活用による職員配置状況の改善に向けて検討を行う。

➤ 行動計画

- ・ 個別支援、地域生活支援を通してのチームアプローチ
- ・ 制度理解、援助技術等への研修会への参加及び内部研修の実施
- ・ ケースへの包括的対応を可能にするための職員会の実施
- ・ 職員会における定例的な事業進捗状況の確認

2. 生活課題に向き合う総合相談

総合相談と地域福祉推進の視点をもち、本会全体で取り組む。
各事業と連携し、横断的な相談支援体制の充実を図る。

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

仕事が見つからない、病院や学校に行くお金がない、食べるものがない、引きこもりがちなど、経済的自立のみならず日常生活自立支援や社会生活自立支援など本人の状態に応じた支援を目指す。

➤ 方針

- ・アウトリーチ（地域や家庭に出向いていくこと）の徹底
- ・ニーズ発見から即対応

➤ 行動計画

- ・適切なアセスメント、支援計画作成のための職員研修
- ・地域福祉担当職員との連携
- ・福祉保健所、ハローワーク等関係機関とのネットワークづくり
- ・引きこもり、若者無業者への関係機関連携による支援(定例会)
- ・支援調整会議、担当者会議への参画
- ・短期就労場所の開拓
- ・県社協「就労準備支援事業」、「家計相談支援事業」との連携
- ・生活福祉資金貸付相談事業との連携による支援
- ・民生児童委員との同行訪問等の実施
- ・フードバンク活動への参画と連携

(2) 福祉サービス利用援助事業

判断能力が不十分な方（認知症高齢者、精神障害者等）が福祉サービスの利用が適切にできるように援助を行い、それに伴う日常的な金銭管理等を併せて行うことで、地域の中での自立した生活を支援する。

➤ 方針

- ・自立生活支援、自己決定の原則に沿った個別支援

➤ 行動計画

- ・生活支援員との支援内容の共有
- ・関係機関との情報共有、ケース会議への参加による連携
- ・通帳管理における内部牽制のルール整備
- ・専門員、生活支援員の研修

（３）生活福祉資金貸付相談制度

収入が不安定な世帯や障がいをもつ方等の世帯に必要な資金を貸し付け、暮らしを支援する制度。高知県社会福祉協議会が実施主体であるが、貸付相談や償還助言は、本会が窓口となり、必要な支援を行う。自立相談支援事業との連携で事業を実施する。

- 方針
 - ・滞納世帯の生活状況の把握と支援
- 行動計画
 - ・生活困窮者自立相談支援事業との連携による支援
 - ・借受世帯の台帳整備
 - ・償還状況報告書管理と償還状況の把握
 - ・高知県社協との連携による滞納世帯への定期的な訪問、償還指導

３．住民主体の福祉コミュニティづくり

住民自らが福祉課題に気付き、課題の共有、検討を通して関係機関と共に問題解決ができるしくみのあり方について検討していく。

（１）地域福祉活動計画

平成２４年５月に策定した「津野町地域福祉活動計画」の２次計画として、本年度中の策定を目指す。

- 方針
 - ・住民主体の計画づくり
- 行動計画
 - ・住民・団体会議等の実施
 - ・ふくしのまちづくり研修会の開催
 - ・ボランティアが核となる福祉活動の現状把握と課題整理
 - ・個別支援から見える地域の福祉ニーズの顕在化
 - ・既存の制度で対応できない課題への検討
 - ・本会事業の横断的な課題整理
 - ・町地域福祉計画との協働
 - ・全職員でのかわり

(2) あったかふれあいセンター事業

地域コミュニティの拠点としての機能充実に向けて検討を行う。

地域ボランティアの協力を得て、事業の企画実施や個別訪問、生活支援、相談支援を行う。

➤ 方針

- ・利用者の生活に密着した支援
- ・地域の特性を活かす

➤ 行動計画

- ・利用者の生活状況（買い物、移動等）と近隣との関係性の把握
- ・サテライト毎の地域特性の把握
- ・世話人との情報共有
- ・町関係者との定例会開催
- ・認知症講習会等学習会の開催
- ・スタッフミーティングの定期的な開催
- ・スタッフの資質向上のための研修への参加

《実施拠点》

拠点の名称	開設場所	開設予定日
いちょうの郷	平成館	毎週月曜日
鶴松の風	しらいしの里 憩	毎週火曜日
新田くつろぎ家	老人福祉センター	毎週水曜日
いらずのさと	船戸多目的集会所	毎週木曜日
せんだん	かわうそ図書館	毎週金曜日

4. 地域から孤立をなくす活動

一人暮らしの人や障がいや病気、貧困等のために社会とつながりをもちにくい人が地域の中で孤立しないように、声なきSOSに気づき、見守りと情報共有のしくみを構築していく。

(1) 福祉委員活動

住民目線で様々なニーズに気づき、早期発見から早期対応につながるしくみづくりのために、民生児童委員の主たるサポート役として福祉委員を位置づけ、地域の福祉力を高めることを目指す。

- 方針
 - ・福祉委員の役割の見える化
- 行動計画
 - ・福祉委員・民生児童委員等連絡会の開催
 - ・五目マップを活用した見守り対象者の確認、災害時支援への活用
 - ・民生児童委員との連携強化
 - ・地区への理解促進（地区長への説明）
 - ・設置要綱の見直し
 - ・手引書の作成、発行
 - ・福祉委員証の見直し、発行
 - ・福祉委員のしくみについて地域福祉活動計画策定作業での検討
 - ・福祉委員研修会の開催

(2) 地域サロン

地域の高齢者や障がい者等とボランティアとが協働で地域のつながりを大切にしたい企画運営を行う。地区集会所等を活用し、回数や内容も地域の実情に合わせながら開催できるように世話人の支援を行う。

- 方針
 - ・地域で一人ぼっちをつくらないための気軽な集いの継続支援
- 行動計画
 - ・町との検討会を通じた支援体制整備と役割分担
 - ・サロン世話人研修会、連絡会の開催
 - ・サロン交流輪投げ大会の実施
 - ・小学校、中学校との交流支援
 - ・サロン活動情報紙の発行
 - ・地域サロンの課題について地域福祉活動計画策定作業での検討

(3) 福祉パトロール

町内の70歳以上の一人暮らし高齢者や75歳以上の高齢世帯を住民や各関係機関等がチームを組んで、安心・安全見守り台帳の更新、新たに台帳作成をする方への緊急連絡先等聞き取りのための在宅訪問を行う。

➤ 方針

- ・見守り支援体制の構築と関係者のつながりづくり

➤ 行動計画

- ・民生児童委員協議会の協力による対象者の確認
- ・東地区、西地区で実施（6月）
- ・民生児童委員、福祉委員、地区長、登録ボランティアや行政、包括支援センター、消防、警察等への協力依頼
- ・訪問調査で把握された課題を津野町安心・安全ネットワーク会議で共有

(4) 安心・安全見守り台帳とお守りカード

福祉パトロールで情報収集した安心・安全見守り台帳の記載事項を速やかにシステムへ入力し、紙台帳でも管理する。

➤ 方針

- ・緊急時に対応できるための管理体制と住民への周知

➤ 行動計画

- ・お守りカードは、民生児童委員の協力を得て速やかに配布
- ・お守りカードの様式(自由記載用)を社協パンフレットに掲載
- ・民生児童委員、消防、行政との情報共有
- ・民生児童委員による定期的な訪問と関係機関との連携
- ・緊急時に対応できる職員間の連携体制
- ・あったかふれあいセンター利用者情報との連携

5. 助け合い・支え合えるつながりづくり

お互いさまの土壌づくりを目指し、できるときにできる活動を提供し合うボランティアのしくみを構築していく。

(1) ボランティア活動

ボランティアセンター機能の充実を図りながら、ボランティア活動の普及、活動支援を行う。個人ボランティアの台帳登録によりボランティア及び活動の把握を行い、更に、地域に合った福祉活動につなげることを目指す。

- 方針
 - ・助け合いの地域づくりの核となる人と活動を知る
- 行動計画
 - ・ボランティア登録台帳整備
 - ・ボランティア活動のコーディネート
 - ・ボランティアの広報、啓発
 - ・ボランティア活動保険の情報提供、加入事務
 - ・町ボランティア連絡協議会の事務局運営
 - ・職員の共通意識の醸成

(2) 住民参加型助け合い制度「ほっとサービス」

住民の参加と協力により、日常生活に支障のある在宅の要援護者の暮らしを支援し、津野町で生活する住民同士が助け合いの輪を広げていくことを目指す。

- 方針
 - ・地域での助け合い活動との連携
- 行動計画
 - ・集落活動センター、NPO活動との協調連携
 - ・協力会員台帳の整備
 - ・支援要請を受けてから早期の現地下見、利用者への連絡

(3) ふれあい配食サービス

一人暮らし高齢者、高齢世帯等の住民が生活に張りを持ち、食を楽しめるよう、ボランティア手作りのお弁当を昼食時に自宅まで届ける。定期的な訪問活動により、心身の状況を把握し、変化や不安等に対応する。民生児童委員やボランティアが担い手となってサービスを提供する。

➤ 方針

- ・豊かな在宅生活支援のための心通う温かな交流の継続

➤ 行動計画

- ・東地区 月4回、西地区 月3回の実施
- ・地域への食材料提供依頼
- ・見守り活動の趣旨の理解とボランティアへの協力依頼
- ・ボランティア交流研修の実施
- ・衛生管理、感染症予防対策の徹底

(4) 災害ボランティアセンター事業

災害時の円滑なボランティア活動支援を行うため、災害ボランティアセンターの設置、運営にかかわる各種団体や関係機関と相互にコミュニケーションを図る。

➤ 方針

- ・災害ボランティア活動の必要性の理解、啓発

➤ 行動計画

- ・災害ボランティアセンター運営会議の開催
- ・災害ボランティアセンター模擬訓練の実施
- ・啓発イベントの開催
- ・町防災担当課との協議、連携
- ・高幡広域社協災害時支援協定に関する調整、協働
- ・関係機関、団体緊急時連絡先一覧表の更新

6. 啓発・福祉教育事業

社会福祉について関心と理解を深め、地域福祉活動への主体的な参画と協働を促すことを目指していく。

(1) 社協だより「あくしゅ」

本会の事業・活動及び福祉全般に関する情報を地域住民に提供し、福祉意識を高めていくことを目的に発行する。

- 方針
 - ・ボランティアの活躍、地域づくりの啓発
- 行動計画
 - ・住民福祉活動、ボランティア活動を中心的に掲載
 - ・共同募金助成金や社協会費の民間財源の活用について啓発
 - ・毎月発行、全戸及び関係機関、特別会員へ配付

(2) 社協リーフレット「こんにちは社会福祉協議会です！」

社協会員会費制度の周知と会員登録の依頼時に、社協事業の紹介資料を作成、住民に配布する。

- 方針
 - ・社協事業の啓発
- 行動計画
 - ・会員募集時に配布（7月）
 - ・リーフレット裏面に「お守りカード」の様式を記載
 - ・福祉委員・民生児童委員連絡会等での活用

(3) 子ども福祉・ボランティア活動

園児や小学生、中学生が年齢に応じたふれあいや助け合いの取り組みができるように、子ども園、小中学校と連携し取り組む。

- 方針
 - ・子どもたちの福祉意識の向上に向けての体験支援
- 行動計画
 - ・校長会で主旨の説明
 - ・ボランティア活動・福祉教育推進事業助成金交付
 - ・町内小・中学校への出前福祉講座（高齢者疑似体験等）の実施
 - ・学校と地域との交流のコーディネート

7. 在宅介護・在宅支援事業

介護保険制度の動向は、地域支援体制の確立を目指していることから、これまで以上に自立生活支援の視点で地域福祉分野と連動しながら各種サービスを実施する。

(1) 訪問介護事業の実施

利用者が自宅において可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援する。介護保険法の改正への対応や介護予防・日常生活自立支援事業の動向にも注意を払う。

➤ 方針

- ・利用者の自立支援に向けたチームケア

➤ 行動計画

- ・スタッフ間の連携強化、定期的なケース検討会の実施
- ・スタッフ間での訪問介護計画（支援計画）の共有
- ・地域支援事業への円滑な移行の取り組み（契約書等の整備）
- ・各支援計画の実施に関する評価（各利用者月末訪問時）
- ・居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携
- ・近隣の訪問介護事業所との情報共有と共同での課題検討
- ・地域福祉活動との連携
- ・訪問介護員のスキルアップ
- ・利用者の苦情解決のための対応（振り返りの実施、記録簿の整備）

(2) 訪問入浴介護事業

自宅で入浴困難な方に対して、訪問入浴車を派遣し、居宅内で入浴していただくことによって、清潔保持、身体機能の維持をはかる。

➤ 方針

- ・利用者、家族とのコミュニケーションを大切にした介護

➤ 行動計画

- ・居宅介護支援事業者、医療機関との連携、調整
- ・スタッフミーティングの実施

（３）福祉用具貸出し

在宅要介護者の利便を図るため、本会保有の福祉用具（電動ベッド、車いす等）の貸し出しを円滑に行う。ベッドについては、搬出入を本会職員が行う。また、介護用品についての相談を受け、必要に応じて配達も行う。

- 方針
 - ・相談から貸出し、搬出への迅速な対応
- 行動計画
 - ・福祉用具の衛生と安全に配慮した管理
 - ・介護用品についての相談対応とあわせ
 - ・地域包括支援センター等関係機関との連携
 - ・福祉用具貸出し状況を明確にするための台帳整備

（４）生活支援型配食サービス

町からの受託事業として実施。ケア調整会議で必要と認められた方へ毎日型昼食を提供する。

- 方針
 - ・在宅生活継続のための利用者ニーズに応じた対応
- 行動計画
 - ・普通食は、町内飲食業者に、特別食は、特別養護老人ホームへ調理を委託
 - ・本会職員による配達と見守り
 - ・緊急時の対応についての職員の共通理解と体制整備
 - ・利用者台帳の整備（緊急連絡先等）
 - ・配達職員による近況等の情報共有
 - ・地域包括支援センター等との情報共有
 - ・利用状況の管理、利用者の確実な徴収
 - ・配達記録の整備

8. 障がい者地域生活支援

ノーマライゼーションの理念を大切に、また、本年度から施行される障害者差別解消法の目的を理解し、地域で障がいをもつ人が自分らしい生活ができるような支援を目指す。

(1) 地域活動支援センター

町からの受託事業として実施。地域で暮らす障がいのある人たちが気軽に來ることができる場所として、集いを定期的に行い、社会との交流、創作的活動、生産活動の機会の提供によって、自立した生活が営めるように支援する。交流事業実施に当たっては、ボランティアの協力を得る。

➤ 方針

- ・ 個別支援を重視した社会参加につながるかわり
- ・ 利用者自身の能力を生かした主体的な集いの実施

➤ 行動計画

- ・ わきあいあい広場の毎月実施
- ・ わきあいあい広場ミニ（少人数）での生活スキルの向上支援
- ・ 必要な在宅障がい者への在宅訪問の実施
- ・ 障がい児童生徒対象の長期休暇支援事業の実施
- ・ 保健師、相談支援事業所との連携によるケースの共有
- ・ 支援員の障害関係研修会への参画
- ・ ボランティアミーティングの実施

(2) 障害居宅介護支援事業

指定障害福祉サービスとして実施。障がい者が在宅生活及び地域生活を送るうえで、訪問介護員により必要な生活支援等を行う。

➤ 方針

- ・ 障がいや個性に応じた支援

➤ 行動計画

- ・ 相談支援事業所との連携
- ・ 介護事業所(本所)と支所との連携による利用者のニーズ把握
- ・ ケース検討会の実施（毎月）
- ・ 介護職員の研修

（３）移動支援事業

町からの受託事業として実施。障がいのある人が社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出する際に移動を支援する。本会の訪問介護員が支援する。

- 方針
 - ・障がいやニーズに応じた社会参加及び外出の支援
- 行動計画
 - ・相談支援事業所と連携
 - ・安全な支援のための家族との情報共有

９．就労継続支援（Ｂ型）事業所

障がいがありサービスが必要な方に対して、就労の機会を提供し、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、どんぐり農園グリーンエ、作業所里楽において就労継続支援を実施する。一般就労について、本人の意向に沿えるよう各関係機関と連携し、支援を行う。

（１）事業運営

指定障害福祉サービスとしての責務と社会的使命のもと、サービスの質の向上を目指して運営を行う。利用者が安心して利用できるための環境整備や送迎サービスの実施に向けて体制整備を行う。

- 方針
 - ・チームアプローチによる支援
 - ・安心して楽しく利用できるための環境整備と職員の質の向上
- 行動計画
 - ・スタッフの基本姿勢の確認
 - ・生活支援員、職業指導員の支援力とチーム力向上に向けた研修
 - ・障害者虐待防止法、障害者差別解消法についての学習と配慮
 - ・スタッフミーティングの実施
 - ・施設、設備環境整備
 - ・利用者の送迎サービスの開始（体制整備）
 - ・他事業所等の行事への積極的な参加による交流、情報交換
 - ・家族連絡会の実施
 - ・利用者の一泊研修旅行の実施
 - ・相談支援事業所、行政等関係機関との連携
 - ・苦情解決の対応

（２）就労支援

どんぐり農園では、農作業（樹木ポット苗木、花ポット苗、野菜の生産及び販売、もみの木レンタル事業、町受託作業等）を行う。作業所里楽では、町受託事業（施設の清掃、クリーニング）、喫茶事業、クッキー製造販売等を行う。

➤ 方針

- ・利用者の障がい、能力の応じた作業の支援
- ・収益増を目指し、利用者の工賃アップにつなげる

➤ 行動計画

- ・販路拡大
- ・商品開発、宣伝活動等販売計画の作成
- ・工賃向上計画の作成
- ・作業効率と利用者に合わせた作業環境の整備
- ・作業目標の見える化
- ・個別支援計画の作成、支援会議、モニタリングの実施

（３）生活支援

落ち着いた環境で作業ができるように、利用者の体調や生活の困りごとに配慮しながら、利用者本位の支援を行う。

➤ 方針

- ・年齢、障がい等の配慮に立った日々の不安にも寄り添える支援

➤ 行動計画

- ・毎朝の体調チェック、体操の実施
- ・相談支援事業所、保健師との連携
- ・障がい別研修、支援技術等の研修への参画
- ・チームでの個別情報と支援内容についての共有

10. 共同募金事業、日赤事業

(1) 共同募金、歳末たすけあい募金の募集と助成

共同募金運動は、共同募金委員会運営委員会、審査委員会によって推進する。国民たすけあい運動としての「赤い羽根共同募金」の趣旨を理解し、住民に広く寄付金を募集する。

➤ 方針

- ・募金活動の意義の啓発

➤ 行動計画

- ・共同募金募集時期：10月～12月
- ・福祉関係団体等への助成受付：4月、助成決定：5月
- ・津野町で活用される助成事業について広報
- ・民間助成金としての役割の周知
- ・歳末たすけあい運動の実施

(2) 歳末たすけあい事業「おせち料理の配食」

歳末たすけあい義援金を有効に活用し、心温まるお正月を迎えてもらうために、町内の高齢者世帯等を対象に「おせち料理」を年末に配食する。ボランティア、民生児童委員等の手作りで実施する。

➤ 方針

- ・心豊かなお正月を迎えられるための心配り

➤ 行動計画

- ・財源となる助成額との調整
- ・ボランティアとの共同で内容の検討
- ・民生児童委員の協力による対象者の把握

（３） 日赤（日本赤十字社）事業と社資募集

日赤事業推進のための社資を住民から募集する。社員制度の変更に
ついて啓発し、防災知識の普及に努める。

➤ 方針

- ・ 防災、災害支援と社資募集の趣旨の連動による啓発

➤ 行動計画

- ・ 日赤社資募集（５月）と社資管理、台帳整備
- ・ 日赤奉仕団との連携
- ・ 災害ボランティアセンター運営会議の事業との連携
- ・ 自主防災組織への防災用品支援の検討
- ・ 大規模災害への義援金募集用の窓口募金箱の設置
- ・ 県支部より救援物資の預かり保管
- ・ 高幡地区、県支部が行う災害救護等の研修への参画

１ １． 福祉団体等の活動支援

次の５団体と事務委託協定書を双方で取り交わし、事務局を受け持ち、各団体の
事業計画に基づき、活動を支援する。

- （１） 民生児童委員協議会
- （２） 老人クラブ連合会
- （３） 障がい（児）者連合会
- （４） 母子寡婦団体「ひまわりの会」
- （５） シルバー介護士会「ひだまり」

《参考資料 1》
月別事業計画

No. 1

	1. 法人基盤整備	2. 総合相談	3. 福祉コミュニティ	4. 孤立をなくす活動	5. 助け合い・つながり	6. 啓発・福祉教育	7. 在宅介護・在宅支援	8. 障がい者地域生活支援
4 月	・高幡社協連総会	・支援調整会議（随時） ・若者サポート定例会	・活動計画実務者会	・福祉委員等連絡会 ・サロン実施報告整理 ・サロン世話人連絡会	・ボランティア登録台帳 ・ボラ保険加入手続き ・配食新規利用者連絡	・あくしゅ（毎月） ・校長会福祉教育説明	・福祉用具貸出台帳整備 ・ヘルパーケース検討会	・わきあいあい広場 ・ボランティアミーティング
5 月	・事業会計監査 ・理事会 ・評議員会	・生福：払込通知票送付		・福祉委員等連絡会 ・パトロール対象者整理	・ボラ連絡会代表者会 ・災害ボラセン運営会議	・福祉教育ボランティア助成事業審査決定	・県ヘルパー協総会研修会 ・県コミュニケーション研修	・わきあいあい広場 ・長期休暇事業準備会
6 月	・資産変更登記 ・役職員B別意見交換会		・活動計画策定委員会	・福祉パトロール（全町）			・ヘルパーOJT研修 ・高幡ヘルパー連絡会	・わきあいあい広場 ・長期休暇事業準備会
7 月	・会員募集 ・四国地域福祉セミナー	・若者サポート定例会	・活動計画実務者会	・見守り台帳の整備	・食品衛生研修	・社協リーフレット発行		・わきあいあい広場 ・長期休暇支援事業
8 月		・生福：払込通知票送付	・計画プロジェクト会	・お守りカード配布 ・サロン対抗輪投げ大会			・高幡ヘルパー連絡会	・長期休暇支援事業 ・わきあいあい広場
9 月				・サロン世話人研修会	・災害ボラセン運営会議		・県ヘルパー協B研修会 ・高幡ヘルパー研修	・障害者運動会 ・わきあいあい広場
10 月	・前期事業会計監査	・若者サポート定例会	・活動計画策定委員会				・ヘルパーOJT研修	・わきあいあい広場
11 月		生福：払込通知票送付 ・滞納世帯償還指導	・ふくしのまちづくり 研修会	・サロン交流輪投げ大会	・災害ボラセン模擬訓練 ・配食ボランティア研修	・健康ふくし展	・四国ヘルパー研修 ・県ヘルパー現任研修	・わきあいあい広場
12 月	・理事会 ・評議員会 ・定款変更申請		・計画プロジェクト会	・福祉委員推薦依頼	・歳末おせち配食		・高幡ヘルパー協研修会	・わきあいあい広場 ・長期休暇支援事業
1 月		・若者サポート定例会	・計画プロジェクト会		・災害ボライベント			・わきあいあい広場 ・長期休暇支援事業
2 月	・監事研修 ・役員、評議員改選	生福：払込通知票送付 ・自立支援関係者連絡会	・活動計画実務者会	・福祉委員研修会	・配食利用者調査		・ヘルパーOJT研修	・わきあいあい広場
3 月	・理事会 ・評議員会	・専門員研修	活動計画策定委員会		・災害ボラセン運営会議		・高幡ヘルパー連絡会	・わきあいあい広場 ・長期休暇支援事業
		・相談、面談（随時）			・被災者支援研修 ・災ボラ基礎研修	・学校高齢者疑似体験 等（随時）	・ケース検討会（毎月） ・生活支援配食ケア会議	・わきあいミニ（月2回）

月別事業計画

No. 2

	9. 就労継続支援	10. 共同募金・日赤		11. 各福祉団体の月別事業計画				
				民生児童委員協議会	老人クラブ連合会	障がい(児)者連合会	ひまわりの会	シルバー介護士会
4月	・職員会、個別支援会議 (毎月・随時) ・社会見学、衛生教室	・共募助成金公募受付		・役員会 ・総会 ・県民児連総会 ・活動記録集計 ・福祉委員連絡会	・親睦旅行 ・会計勉強会 ・役員会	・役員会 ・高幡障害連絡協 ・美化活動	・総会	・総会
5月	・春の特産市	・日赤社資募集 ・共募助成金先決定 ・共募運営委員会		・県民生委員大会 ・高幡民協総会研修会 ・福祉委員連絡会	・役員会 ・総会 ・体力測定	・なかまの集い ・県スポーツ大会		
6月	・健診 ・熱中症予防教室 (どんぐり)			・県中堅民生委員研修 ・福祉パトロール ・学校子ども園訪問	・高幡介護予防研修	・高幡障害者連総会、研修	・親睦旅行	
7月	・熱中症予防教室(里楽) ・社会見学			・管内民協全員研修	・役員会 ・会長会	・美化活動		・ひだまりの集い
8月				・お守りカードの配布 ・中堅民生委員研修	・役員会	・役員会		
9月	・避難訓練 ・衛生教室(里楽) ・運動会	・日赤災害救護救援研			・社会奉仕の日 ・ふれあいグラウンドゴルフ ・ろうれんピック	・運動会		
10月	・社会見学 ・衛生教室(どんぐり)	・共同募金募集 ・日赤委員長事務局会			・体育大会 ・老人大学 ・健康ウォーキング	・スピリットアート ・美化活動 ・県身体障害者福祉大会	・親睦旅行	
11月	・産業祭	・歳末もちつき		・法定民協会長研修会	・体力測定	・バスハイク		・ひだまりの集い
12月	・料理教室	・歳末おせち配食		・総会 ・おせち配食	・会長会 ・役員会 ・施設訪問	・クリスマス会	・年末交流会	・研修旅行
1月	・社会見学(里楽)			・子育て支援者研修会	・役員会	・役員会		
2月	・一泊研修旅行(どんぐり)			・法定民協会長研修会 ・配食利用者調査		・団体会長、指導者研修会	・親睦旅行	
3月	・避難訓練	・共募運営委員会 ・募金実績報告			・会長会 ・役員会 ・ふれあいグラウンドゴルフ	・役員会		・ひだまりの集い
	・個別支援会議(随時) ・職員会議(毎月)			・定例会(毎月)	・歌謡体操、社交ダンス、 3B体操(毎月・随時)	・会報発行(年2回)	・ボランティア活動(葉山荘喫茶・掃除) ・役員会(年3回) ・物品販売	・在宅訪問(毎月第3月曜日)